

# 発 刊 に よ せ て

大阪商業大学 学長 谷 岡 一 郎

このたび大阪商業大学教職課程研究紀要を発刊する運びとなりました。

「教職課程の質の保証・向上」は、教職課程を持つすべての高等教育機関の義務ですが、教員による不断の研究・努力なくしては達成できる目標とはなりえません。これまで大阪商業大学論集などに限られていた成果発表の場が新たに広がること、学長として大変嬉しく感じます。

世の中は変化し続けています。中学校や高校の現場も変化し、生徒の質もむかしと今では同じではありません。教え方や教科書（およびサブ・テキスト）などの教材も、その変化に対応しなくてはなりません。言うは易いことですが、実行は困難なものであると聞いています。実践に伴うさまざまな予期せぬ事態へ対応するのは難しいかと思います。教科書だけでは対応しきれない実例の列挙だけでも、将来教壇に立つ若人たちにとって欠くことのできない知識となるでしょう。それより何より、予期せぬ事態に遭った時、自分で考え、自分で決めた対応のできる人間性こそ、教員としてより重要であります。どうすればそんな将来の教員を育てることができるのでしょうか。いろいろな知見を分かちあう手段として、この紀要が大きく寄与してくれるものと信じます。

この紀要は教職課程委員会の長を務める佐野茂教授を中心とする、何人かのグループによって誕生することができました。そのグループには教員のみならず、職員たち（ベテランも若手も）も関わっていたと聞いています。ここに関係各位のご努力に感謝申し上げます。

私も含めて、すべてのスタッフは、この紀要によって将来の優れた現場の教員が1人でも増えることしか考えていないはず。逆に言えば、将来の教育現場を少しでも良くすることで、すべての努力は報いられるのです。この第1号はそれに耐える優れた論文（他）があるものと考えていますが、それをさらに確固たるものにすべく、さらなる「中味の充実」をここに目標として掲げ、この紀要の船出を喜ぶたいと思います。

